

外国人技能実習生

# 将来見据え受け入れ

## 準備進める介護施設も

2017年11月に外国人技能実習制度の対象に介護が加わった。受け入れにあたっては日本語レベルはN4程度（日本語能力試験）、実習生ごとに技能実習計画書を作成、処遇は日本人と同額以上などの要件が設けられたが、介護現場では制度自体の信頼性や日本語でのコミュニケーションなどを不安視し、様子見の所が多い。そんな中、将来を見据えて早々に受け入れを決め、準備を進めている施設もある。

（横戸新）



「覚えた介護の日本語を言ってみて」「車トナムにいます実習候補者5人とスカイプで面談した。終始明るい雰囲気（東京都足立区）の特 別養護老人ホームブレ もしながら日本語の習

「覚えた介護の日本語を言ってみて」「車トナムにいます実習候補者5人とスカイプで面談した。終始明るい雰囲気（東京都足立区）の特 別養護老人ホームブレ もしながら日本語の習



パソコンを使いスカイプで面談（白寿会）

# 夏以降 入国の見通し

在はN3を取るために勉強中だ。実習生の受け入れは外国人技能実習機構の許可を得た監視団体を通じて行う。しかし200以上ある監視団体からどう選べばよいか苦慮している所も少なくない。白寿会は知人を通じてきずな国際交流協同組合と契約したが、川名康氏・常務理事は「会って話せばど

な相手か判断できるはず」と話す。白寿会は制度が施行される半年以上前の17年3月にベトナムの介護施設、送り出し機関

の研修施設などを視察した。実習希望者30人が大事」と語る。

「将来は介護スタッフの1割（100人程）を外国人にする計画」と話すのは社会福祉法人若竹大寿会（横浜市）の山岡悦子・法人本部副本部長。実習生はフィリピンからまず6人を受け入れる。若竹大寿会は現在EPA（経済連携協定）

でフィリピンなどから10人を受け入れ、その実績とノウハウを技能実習にも生かす。山岡副本部長は「EPAの10人はみんな仕事に一生懸命で言葉の壁もそれほど問題ない」と言い、介護の仕事への適性と基本的なコミュニケーション能力があればいいという。

「技能実習制度については違法な低賃金労働や失踪などの問題が起きており、介護は初めての対人サービスというところで慎重に進められている。ただ制度は動き出している。介護で初めての実習生の受け入れが5月1日付で外国人技能実習機構から認定され、早ければ6月にも中国人2人が宮崎県の介護施設で働く。

白寿会、若竹大寿会では受け入れ時期が当初の予定からずれ込み、夏以降になる見通しだという。

白寿会の青木室長は「次につながるような信頼関係をつくりたい」と入国が延びたことを準備に充てられると前向きに捉え、若竹大寿会の山岡副本部長も「実習生が活躍できることを発信したい。双方にとってメリットのある仕組みにした」と意気込んでいる。